

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 5月20日

【評価実施概要】

事業所番号	2971400201
法人名	社会福祉法人 信 愛 会
事業所名	グループホーム グレース
所在地	奈良県生駒郡平群町越木塚336-1 (電話) 0745-45-0865
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成20年5月7日

【情報提供票より】(20年4月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 4月 1日
ユニット数	2 ユニット
職員数	13 人
利用定員数計	18 人
常勤	12 人
非常勤	1 人
常勤換算	12.2人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り
	1階建て 1階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	40,500 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	1,500,000円	有りの場合 償却の有無	有(10年)	
食材料費	朝食	300 円	昼食	500 円
	夕食	600 円	おやつ	200 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(4月15日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	3 名	要介護2	4 名		
要介護3	4 名	要介護4	5 名		
要介護5	1 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 84 歳	最低	71 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	郡山青藍病院・東生駒病院
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、豊かな自然に囲まれ野鳥のさえずりが聞こえる高台に新設開所されました。隣りには、同法人が運営する特別養護老人ホームやデイセンターがあり重度化への安心につながっています。ホーム内は明るくゆとりがあり、利用者はそれぞれのペースで穏やかに生活されています。職員も運営理念を大切に、共に過ごし支え合う関係の下に支援されています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題と今後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	定期的な職員会議の開催や職員の資質の向上への取り組みに改善がみられますが、地域との交流は立地上の問題もありますが希薄感は拭えません。地域密着型に制度改正された趣旨を活かす取り組みを期待します。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価する事の意義・目的は理解されていますので、今後は、全ての職員の参画の下で実施されることで一層の効果・目的達成につながると思われますので検討ください。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議の設置目的や役割の認識があり、構成メンバーの選定過程にありますが、基準省令に則り早急に設置される事が望まれます。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の訪問時に、本人や家族の意見や不安に感じられている事項を聞き出す取り組みや、家族交流会でのアンケートの実施、意見箱の設置等により寄せられた意見等を検討・検証され運営に活かす取り組みがされています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	日常的な繋がり、徐々に広がりが見られますが立地上の関係から希薄であります。地域密着型サービスに位置づけされたことで地域との関りをより重視されていますので、この視点を大切にして交流促進を期待します。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「本人の意思及び人格を尊重し、自立した日常生活の実現を目指す」ことを基本とする理念が作られています。		地域密着型サービスに制度改正されたことにより、地域との交流がより重視されました。この視点を大切にしたい運営理念の作成と立地的な問題もありますが、実践への取り組みを期待します。
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の共有化は、日常のミーティング時に確認し合い、また、事業所内に理念を優しい表現で「私たちの目標」と墨書・掲出され、実践に活かす取り組みがあります。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の特別な行事(運動会・夏祭り)等への参加がなされていますが、日常的な繋がりは希薄と感じられます。		利用者が住みなれた地域・環境の中で安心して暮らし続けるためには、地域社会との交流は欠く事の出来ない大きな要素でありますので、積極的な活動参加等を期待します。また、事業所も地域社会の一員と認識され、社会活動への参画を期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義等への理解はあり、自己評価はサービス上の課題や問題点の把握と質の向上への機会と捉え取り組まれています。また、外部評価の意義・目的も認識されており、評価結果は職員に周知し改善に活かすこととされています。		自己評価に際しては、一部関係者で検討・検証し実施されていますが、全職員の参画の下に実施されることで、一人ひとりの職員が質の向上への課題や現状認識を深める上で効果が生まれますので、今後の自己評価に工夫される事を期待します。
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、現在、その構成メンバーの選定過程にあり、設置するまでには至っていません。		運営推進会議の設置の趣旨・目的を理解されていますので、基準省令に則り早急に設置される事が望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域密着型への制度改正により、行政との連携は不可欠との考えから、運営上の諸課題の相談や情報交換等で担当者との接触機会を多く持つ事に努められています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的に手書きで近況を報告されると共に、家族の訪問時にも必ず暮らしの様子等を報告する事とされています。なお、健康に変化が見られる時には報告・相談する事とされています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時に、本人や家族の意見や不安に感じている事項を聞き出す取り組みや、家族交流会でのアンケートの実施の他、設置されている意見箱に寄せられた意見等を検討・検証し、運営に反映することとされています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの関係は、利用者の安定した生活の維持には欠かせない要素であることから、職員異動等には十分配慮されています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	サービスの質の確保には、職員の資質の向上を図ることも必要との認識の下、計画的に外部研修受講がなされ、受講者はレポートを提出し、職員に回覧する事で全体のレベルアップに繋げることとされています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会等での意見交換程度に留まっており、具体的な交流や勉強会を開くまでは至っていません。		良質なサービスを確保を図る上で、同業者との相互訪問等による交流も必要と認識されており、実現を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホームの見学時等に本人や家族の希望や思いを十分聞き取り、また、おやつの間では利用者と同席し暮らしの様子を体験することから、安心・納得での移行に繋げる取り組みがなされています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の生活暦を基に、体験や特技(花作り・野菜作り・絵画)が生かせる場面作りに工夫され、共に学び・支えあう関係で支援されています。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用前の生活暦等の詳細な聞き取りの他、暮らしの中での思いや意向の把握に努められています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントで確実な情報を収集され、関係者で協議し本人に真に必要な介護計画となるよう検討されています。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、6ヶ月毎に見直しされています。また、健康状態や生活に変化が見られる時や退院後等には、カンファレンスを行い、現状に合わせた介護計画を作成する事とされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の状況を勘案され、通院・買い物等柔軟な支援に努められています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	馴染みの深い医師での受診は、本人が安心・満足する事から、希望があれば対応されています。なお、その時には暮らしの情報を伝えることとされています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に終末期等のあり方への話し合いがなされていますが、明確な方針を樹立するまでには至っていません。		本人や家族にとって、終末期への対応は極めて高い関心事であると思われるので、克服すべき課題が多くありますが、関係者が相談され明確な方針の樹立と職員への意識づけと共有化への検討を期待します。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	「本人の意思及び人格の尊重」を基本に、相手の状況を踏まえ、ゆっくりした言動を心がけ支援されています。なお、各種記録等は、決められた場所で管理・保管されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の基本的な生活の流れの設定はありますが、本人のペースや希望に合わせた支援に努められています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や片付け、また、簡単な添え物や味噌汁作り等は本人の能力に合わせて協働されています。職員も同じテーブルで食事され、静かな音楽を流し楽しく食事ができる雰囲気作りに努められています。		食事の調理等は、隣接の特別養護老人ホームで一括なされていますが、「家庭的」な面を重視し、自己調理の機会を増やす工夫を期待します。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日や入浴時間帯に設定がありますが、本人の状態や希望に合わせた支援に努められています。		職員の勤務の関係から、夜間での入浴を実施するまでには至っていませんので、夜間入浴の支援への検討を期待します。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活上の役割や特技を生かせる機会の提供等により、喜びや気晴らしに繋げる支援がなされ、充実した暮らしの確保に努められています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出により受ける刺激の効果を認識され、天候や本人の状態を勘案され、周辺の散歩や買い物など戸外に出掛ける機会への取り組みがなされています。		ホーム専用の車両が無く、必要な時は併設のデイサービス保有の車の借用により対処されていますが、外出や通院等で利用者の希望に十分応えきれない時がありますので、専用車の配置について検討される事を期待します。
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠による弊害を正しく認識されており、玄関にセンサーの設置はありますが常に開錠されています。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に避難・誘導訓練が実施されており、被災時に備えて地元消防団に応援要請がなされています。なお、緊急連絡網等の整備もなされています。また、震災に備え緊急物品の備蓄については、隣接の特養で一体的に確保されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取・補給の状況は細かくチェックされ記録されています。また、栄養バランスについても管理栄養士の献立によられていることから適切な支援が図られています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内は、ゆったりと過ごせるスペースが確保され、共用されるダイニングや浴室・トイレ等は清掃が行き届き清潔感があります。また、テーブルには花が生けられ潤いを感じられます。なお、一人ひとりが自由に過ごせる場所の確保もなされています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、使い慣れた家具やぬいぐるみ等好みの品が持ち込まれ、安心して暮らせる場所となっています。		